



2010年2月15日

各位

会社名 昭和電線ホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 富井 俊夫
(コード番号 5805 東証第1部)
問合せ先 経営企画部 IR・広報グループ長 菅井 幹夫
(TEL. 03-5532-1911)

中期経営計画（2010～2012年度）について

・・・GLOBAL SWCC 2012・・・

当社は、2010年度（2011年3月期）からの3ヵ年を対象とした昭和電線グループの中期経営計画「GLOBAL SWCC 2012」を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 背景とねらい

当社グループは、激変する経営環境に対応することを目標に2006年4月に持株会社体制へ移行し、事業基盤の強化を図るとともに、海外事業の拡大に向け取り組んでまいりました。

取り巻く事業環境は、少子高齢化による国内市場の縮小、国内建設需要の減少、世界的な環境意識の高まり、急激な新興国の成長、グローバル化の進展による為替や資源価格の変動リスク増大等、大きな転換期を迎えております。

このような事業環境の中で、昭和電線グループの5年後、10年後の成長を確実にするため、当社グループの強みである社会インフラ関連技術を核に低炭素社会の実現に向けた製品開発の推進や海外の社会インフラ需要を積極的に取り込むことにより、昭和電線グループのブランド価値の向上を図ってまいります。

GLOBAL SWCC 2012

未来に夢を、世界に信頼を

Creating for the Futureの昭和電線グループ

2. 基本方針

1) 国内基盤事業の再構築

- ・継続的な事業構造改革による収益基盤の強化
- ・調達機能の強化によるコスト低減の徹底
- ・国内需要に見合った物流・生産体制の再構築

2) 海外インフラ需要の取り込み

- ・海外パートナーとの連携強化による海外展開の加速
- ・海外市場向けの製品開発による新興国での事業拡大
- ・海外拠点の収益力強化

3) 低炭素社会の実現に向けた製品開発の推進

- ・マーケティングと技術企画を強化し、研究・製品開発を加速
 - ◆超電導線材 ◆熱電変換素子 ◆太陽光・原子力発電関連 ◆鉄道・自動車関連 等
- ・海外での製品開発体制構築

3. 中期経営計画の数値目標

1) 連結業績

(単位：億円)

	2009年度予想	2010年度	2011年度	2012年度
売上高	1380	1500	1600	1650
営業利益	6	25	40	55
経常利益	△16	10	26	41
当期純利益	△22	8	15	21
有利子負債	610	600	580	560
ROA	△1.2%	0.7%	1.9%	3.0%

※ROAは、経常利益ベース

2) 配当方針

・早期復配を実現し、配当性向30%以上の安定配当を実現できる財務基盤を構築する。

本件に対するお問合せ先：

昭和電線ホールディングス株式会社

経営企画部 I R・広報グループ TEL 03-5532-1911

以上